

日本交通從業員組合 第二回

海上交戦

四能業宣言發表

四午後〇時三十分、登表の罷業宣言は、實に武士道的原行動にして、軍艦史上に一大エポックを劃せるものにして、如何に日本主義が堂々たるものであるかを中外に表明した。

○

東交の罷業宣言

日本交の罷業宣言の發表をみて、アキタナイト、東交首脳部は、某所にて敵へ攻撃へ友愛の日炎のそノマ木をして、あの罷業宣言を發表し、其ものにして時間的に見て、我日交は〇時五十五分に東洋は一時半にシテ約三ヶ月間、日本交は火が止むつてゐるが、又アキタナイト、又能業指令は、東交は一時半と云い大時と、も又七時と八時の間にも云ふけれど、是故つて本部も、時間的に云々千にして、如何に統制が執れてないかが墨跡子れだ。

○ 航世精り、三重心衝突
外を以つて難處十九、萬世精り、三重大衝突、三小時を以つて、山下局長の難處の大手筋を取れず、3を得ない。

四能業宣言書登表

正義と立つ事等の類に乍ら守信の三者は、總首が登表された。
正義と立つ事等の類に乍ら守信の三者は、總首が登表された。

正義と立つ事等の類に乍ら守信の三者は、總首が登表された。
正義と立つ事等の類に乍ら守信の三者は、總首が登表された。

折に設けた、いふく是では市民は生命がけで電車に乗らなければならぬなつた。トライヒト教名が出勤し、車庫から退歸されたと云ふ。水路汽船業請船長の云々が先づこの無統制が暴露されたり対して、我業は結果一層統制に拘束され、販賣に亘り近づかれた。

激励手札

未嘗有の累石萬全を期して断文

大阪市電自助会贈呈文部

断平初志子貫徹セヨ

名古屋愛國交通從業員聯盟

口日本労働同盟は昨四月今次より市電の各管

に於し、我日本交の堂々たる罷業振りに對し、激励を表す。且皆お此時半代役者三名本部に來訪され、大いに激励された。

口前市議島中雄三氏は五日所前、時頃

問奉詣され。

首脳部首領に賛同同志の決意

固く般駆頭頭正の一路に堂々

突進の意氣燃え其だ